

中学校第3学年国語科学習指導案

日 時：令和3年10月29日（金）5校時
生徒：男子9名 女9名 計18名
指導者：太田 祥子

1 単元名 状況の中で

教材名 「故郷」（光村図書 3年）

2 単元について

（1）教材について

本教材で扱う「故郷」は20世紀前半（辛亥革命後の動乱期）の中国が舞台となっている。時代背景を知るとともに、社会の変化や身分制度に大きく左右されたであろう登場人物の言動に着目しながら、厳しい状況下に置かれた人間の姿を読み味わうことができる教材である。文章に表れている作者のものの見方や考え方について生徒自身が考えることを通して、作品を味わわせたい。

（2）生徒について

本学級の生徒は、文学的文章である「握手」で、ルロイ先生への弔辞を書くという言語活動に取り組んだ。多くの生徒は、物語の全体像や、場面の設定などについて、読み取り、ルロイ先生の人柄やエピソードを紹介しながら、ルロイ先生の死を悼んでいることが伝わる文章を書くことができるようになってきた。しかし一方で、文章を読んで考えを広げたり、深めたりすることを苦手としている生徒もいる。

本単元をとおして、文章を読んで考えを広げたり深めたりして考えたことを、グループで交流させながら、自分の考えの形成につなげさせていきたい。

（3）指導について

本単元で身に付けさせたい力は、「文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ」力である。そこで、言語活動として、「故郷」に登場する代表的なタイプの人間について、「主人公（語り手）以外の登場人物の視点に立って、リライト（※）する」活動を位置付けた。個人で課題解決に取り組み、グループで意見を交流し合う。その中で、考えを再構築し、生徒自身の言葉で深めさせ説明させたい。その思考過程を、国語科のテーマである「自他との関わりをもとに、自分の考えを相手に分かるように伝えようとする力」と考えた。

※リライトとは、文章を読んで、目的に応じて創造的に書き換える言語活動のこと。

3 単元の目標

- （1）理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能]（1）イ
- （2）文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 [思考力、判断力、表現力] C（1）イ
- （3）文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 [思考力、判断力、表現力] C（1）エ
- （4）言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(C(1)イ)	①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	① 粘り強く内容を検討し、今までの学習を生かして、作品を書こうとしている。

5 発展と関連 (読むこと・精査解釈)

小1・2年	小3・4年	小5・6年
場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。	登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結びつけて具体的に想像すること。	人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。
中1年	中2年	中3年
目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈すること。	目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。	文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。

6 単元の指導計画 (全7時間 本時5/7)

次	時	目標	学習活動	主な評価規準
一	1	本教材の学習目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 本教材の目標を確認する。 全文を読み、初発の感想や疑問を書く。 グループで交流する。 	
二	2	出来事を時系列で捉え、あらすじと時代背景を確認し、3人のおおよその人物像を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習を振り返り、本時の目標を確認する。 「私」が語る現在の状況と回想の場面を確認しながら、あらすじを捉える。 時代背景を読み取り、この時代に生きた3タイプの人間の生き方が書かれてあることを捉える。 	思②この時代に生きた3タイプの人間が「私」「レントウ」「ヤンおぼさん」であることがわかるかを確認する。(観察・発言)

	3	ヤンおばさんとルントウの変貌について考える。	・ヤンおばさんとルントウの変貌を捉える。	思② 回想の場面と現在の場面を比べて読み、ヤンおばさんとルントウの変貌を捉え、変貌の理由を考えることができるかを確認する。(記述・発言)
	4	登場人物について、リライトする。	・ヤンおばさんについて、指定された場所をリライトする。	思① ヤンおばさん、ルントウの心情を考えながら、リライトすることができるかを確認する。(記述・発言) 態① 自分のリライトを、よりよいものとするよう試行錯誤しているかを確認する。(観察・記述)
	5 本時		・ルントウについて、指定された場所をリライトする。	
6	私が故郷を去る場面を読み、私の心情の変化を捉える。	・前時の学習を振り返り、本時の目標を確認する。 ・「希望とは地上の道のようなもの」という考えに至る心情の変化を捉え、人物像を考える。	思② 「希望とは地上の道のようなもの」と考えた私の心情の変化を捉えることができるかを確認する。	
三	7	リライト作品を再度読み、社会、人間について、自分の意見をもつ。	・前時の学習を振り返り、本時の目標を確認する。 ・リライト作品を読み合い、良いと思った視点、印象に残った表現を発表する。	態① 再度、リライト作品を読み、社会、人間について自分の考えをもち、表現しようとしているかを確認する。

7 本時について

(1) 本時の目標

「ルントウ」の変貌を読み取り、社会情勢を考えながら、「ルントウの葛藤」が伝わるよう、指定された場所をリライトすることができる。(C (1) イ)

(2) 研究内容1【主体的に自分の考えをもち、表現する手立ての工夫】に関わって

国語部会では、表現力の定義を、「自他とのかかわりをもとに、自分の考えを相手に分かるように伝えようとする力」とした。指定された場所を、まず、個人でリライトを行ったあとで、それをグループで交流しながら、ルントウがその言動に至った心情を、説明できるよう考えさせ、リライトを練り直させたい。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	留意点(○) 評価規準
導入 (3分)	1 前時を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 変貌した「ルントウ」の心情が伝わるようリライトしよう。 </div>	○既習事項を想起させ、本時の学習課題へつなげる。
展開 (37分)	3 本時の学習の見通しをもつ。 4 学習課題を解決する。 (1) 個人で学習課題に取り組む。 (2) グループで学習課題に取り組む。 ・個人のリライトを発表し、聞き合う。 ・グループで考えを出し合い、リライトの見直しをする。 (3) グループでまとめをする。 ・「ルントウ」の心情がよく表れていたと思うリライト作品を選び、発表用にさらに練る。 (4) 全体で交流する。 ・お互いの発表を聞き合う。 5 学習課題についてまとめる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> ルントウの感じた寂しさは、昔のような対等（自分が少し優位）の関係で、仲良くすることはできないことへの寂しい思いであることや、シュンちゃんと話しかけられないもどかしい思いであることが、リライトされていること。 </div>	○「喜びと寂しさの色」から「うやうやしい態度」に変わるまでの「ルントウ」の心情を読み取り、リライトさせる。 ○前時の学習を想起し、その言動に至る心情を考えさせる。 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 研究内容1に関わって 自分が考えた根拠を伝え、相手が考えた根拠をしっかりと聞き取らせることで、主体的な交流につなげる。 </div> ○人物の変化について、多様な観点から検討させる。 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 研究内容1に関わって 自分たちと同じ考え、違う考えをそれぞれ交流し、根拠を捉えさせることで読みを深めさせる。 </div> ①交流で知り得たルントウの葛藤を踏まえながら、リライトを練っているか確認する。(ノート)
終末 (10分)	6 本時の学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> (例) 同じ葛藤・心情をリライトするにも、いろんな表現があり、その場に合う表現をするには豊富な語彙が必要だとわかった。 </div>	○グループでの交流、全体での交流について良かったこと、考えさせられたことを振り返る。